

# 推進委員ちば

Vol.320

2018. 1.

千葉県交通安全活動推進センター



謹 賀 新 年

笠森観音(長南町)

平成30年 交通安全年間スローガン決定! (内閣総理大臣賞)

《運転者へ呼びかけるもの》

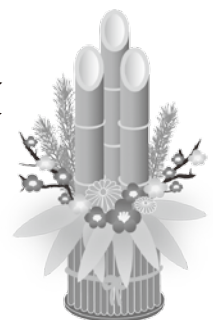
ぶつかるよ ながら運転 じこのもと

《歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの》

行けるはず まだ渡れるは もう危険

《中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの》

自転車は 車といっしょ 左側



# 年頭のごあいさつ



千葉県警察本部  
交通部長

南 昇

明けましておめでとうございます。  
地域交通安全活動推進委員の

皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様方には、平素から地域における交通安全活動の中核として、交通安全教育や広報啓発活動など、各種交通安全活動に御尽力いただくとともに、警察業務の各般にわたり、深い御理解と御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

昨年は、「一件でも多く交通

事故を減少させる」を目標に、

推進委員の皆様を始め、関係機

関・団体の皆様方に積極的かつ

効果的な交通安全活動を推進し

ていただきました。また、新た

な対策として、各警察署の交通

事故発生状況実態に応じた「地

域で守る高齢者事故防止作戦」

や、交通死亡事故多発傾向の分

析に基づく「死亡事故発生後の

三日間対策」などに取り組み、

その結果、年間の交通事故死者

数を大幅に減少させることがで

きました。

しかしながら、依然として多

くの方が負傷し、尊い命が犠牲  
になっている現実を踏まえ、引  
き続き交通事故抑止対策に全力  
で取り組んでいかなければなり  
ません。

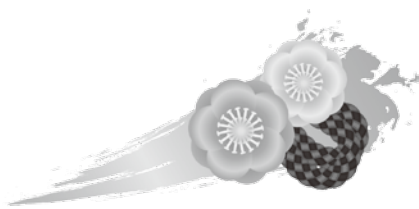
交通事故を抑止する上で、お  
互いに譲り合いと思いやりを持  
った通行を心掛けることが、な  
によりも重要であります。一人  
一人の呼び掛けが、たとえ小さ  
なものであったとしても、その  
積み重ねが交通安全思想の広が  
りと浸透につながり、事故を減  
少させる大きな力となります。

千葉県では、平成三二年末ま  
でに、年間の交通事故死者数を  
一五〇人以下にすることを目標  
としております。県警としては、  
子供や高齢者の安全を地域全体  
で守る環境づくりなど、県民一  
人一人の交通安全意識の高揚を  
図る安全教育を推進するほか、  
悪質・危険な運転者に対する指

導・取締りや通行環境の整備な  
どの対策に取り組んでまいりま  
す。

これらの取組を効果的に推進  
していくためには、地域におけ  
る交通安全活動のリーダーであ  
る皆様のお力添えが不可欠であ  
りますので、皆様の変わらぬ御  
理解と御協力をお願いいたしま  
す。

結びに、千葉県交通安全活動  
推進センター及び各地域交通安  
全活動推進委員の皆様方の御健  
勝を心から御祈念申し上げます。  
年の挨拶とさせていただきます。



## 千葉県警察本部交通部 交通総務課長



小林 勇治

謹んで、新年の御挨拶を申し上げます。

地域交通安全活動推進委員の皆様方におかれましては、平素より警察業務各般にわたり御理解と御協力をいただきますとともに、地域における交通安全活動のリーダーとして、広報活動や交通安全教育など、各種交通安全防止活動に多大な御尽力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

平成29年中の交通情勢は、交通人身事故発生件数は増加したものの、死者数は一五四人と、

前年と比べてマイナス三一人と大幅に減少し、負傷者数も減少しました。特に、高齢者の死者数が減少しており、継続的な高齢者対策の重要性を再認識しているところです。

交通死亡事故の特徴としては、高齢者が被害者となる交通死亡事故が依然として全体のほぼ半数を占めており、特に、横断歩道のない道路を横断中に事故に遭うケースが目立っています。

原因としては、安全不確認や前方不注意といった、いわゆる「漫然運転」によるものが七割以上を占める一方で、歩行者側にも安全確認が十分になされていないなどの不注意が認められ、通行するあらゆる人々に対する交通安全意識の高揚と注意喚起を呼び掛ける取組がより重要となっています。

また、子供や高校生が亡くなる大変痛ましい事故も引き続き

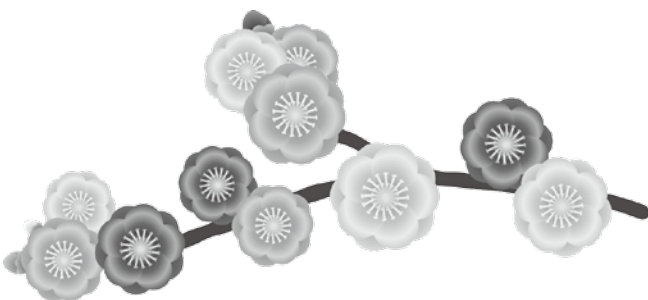
発生しております。児童・生徒に対する安全教育はもとより、保護者を始めとする住民も一体となり、地域全体で子供たちを守る環境づくりにも取り組んでいかなければなりません。

このほか、昨年は、全国的に「あおり運転」が注目され、危険な運転行為に対する関心が高まったほか、高齢ドライバーによる事故も数多く報道されており、警察としては、各種街頭指導及び安全教育を推進するとともに、引き続き悪質・危険な法令違反に対する取締りや交通環境の改善に向けた取組など、時代の要請に応じた的確な交通対策を推進してまいります。

悲惨な交通事故を一件でも多く減少させるためには、皆様の地域における交通安全に対するリーダーシップが不可欠であり、推進委員の皆様には、引き続き、御理解と御協力をいただきます

ようお願い申し上げます。

結びに、千葉県交通安全活動推進センター及び地域交通安全活動推進委員協議会の益々の御発展と推進委員の皆様の御健勝を祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。





## 平成29年中の交通事故発生状況

(平成29年1月～12月)

## ◆ 県内の交通事故発生状況

| 区分   | 総数       | 前年比      |
|------|----------|----------|
| 発生件数 | 18,030   | + 8      |
| 死者数  | 154(154) | -31(-28) |
| 負傷者数 | 22,106   | -290     |

※1 死者数欄の( )内は発生件数を示す。

## ◆ 死者数の多い都道府県

| 順位 | 区分  | 死者数 | 前年比   |
|----|-----|-----|-------|
| 1  | 愛知  | 200 | - 1 2 |
| 2  | 埼玉  | 177 | + 2 6 |
| 3  | 東京  | 164 | + 5   |
| 4  | 兵庫  | 161 | + 9   |
| 5  | 千葉  | 154 | - 3 1 |
| 6  | 大阪  | 150 | - 1 1 |
| 7  | 神奈川 | 149 | + 9   |
| 8  | 北海道 | 148 | - 1 0 |
| 9  | 茨城  | 143 | - 7   |
| 10 | 福岡  | 139 | - 4   |

○全国の死者数 3,694人

(前年比 -210人、-5.4%)

## ◆ 死亡事故の特徴

## 1 事故類型別発生状況

- 事故類型別では、車両相互が64件(41.6%)、車両対歩行者が60件(39.0%)、車両単独が27件(17.5%)、踏切が3件(1.9%)となっている。  
(車両相互には、自転車関連事故15件が含まれる。)

## 2 昼夜間別発生状況

- 昼夜別では、夜間が88件(57.1%)、昼間が66件(42.9%)で、夜間の発生が多い。  
○ 夜間の類型別では、車両対歩行者が47件(53.4%)、車両相互が25件(28.4%)、車両単独が16件(18.2%)となっており、昼間の類型別では、車両相互が39件(59.1%)、車両対歩行者が13件(19.7%)、車両単独が11件(16.7%)、踏切が3件(4.5%)となっている。

## 3 年齢層別死者数

- 高齢者が74人(48.1%)と最も多く、50歳代が22人(14.3%)、40歳代が19人(12.3%)、若者が18人(11.7%)、30歳代が9人(5.8%)、子供、25歳～29歳及び60歳～64歳がそれぞれ4人(2.6%)となっている。

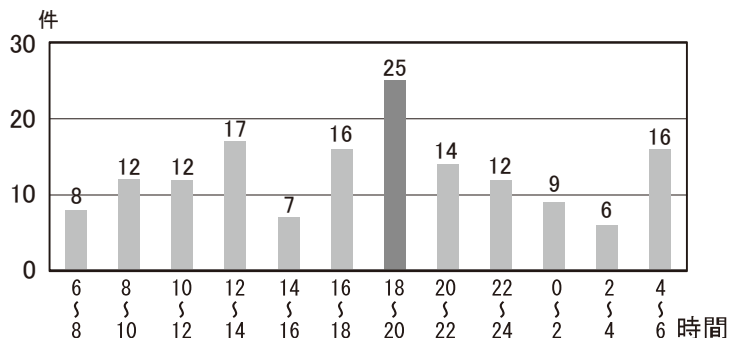
## 4 状態別死者数

- 歩行中死者が64人(41.6%)と最も多く、次いで四輪乗車中死者が37人(24.0%)、二輪乗車中死者が33人(21.4%)、自転車乗車中死者が20人(13.0%)となっている。  
なお、歩行中死者のうち高齢者は48人(75.0%)である。  
○ 四輪乗車中死者のうち、シートベルト非着用者は22人(59.5%)である。

## 5 法令違反別発生状況

- 安全不確認が41件(26.6%)と最も多く、次いで前方不注意が40件(26.0%)、運転操作不適が31件(20.1%)、信号無視及び動静不注視がそれぞれ7人(4.5%)、歩行者妨害が6件(3.9%)、通行区分が5件(3.2%)、一時不停止が4件(2.6%)、優先通行妨害が2件(1.3%)となっている。

## 6 時間帯別発生状況



発行 公益財団法人 千葉県交通安全協会  
千葉県交通安全活動推進センター  
ホームページアドレス <http://www.chiba-ankyo.or.jp>

〒261-0025 千葉市美浜区浜田2丁目1番地  
千葉県警察本部交通部運転免許本部内  
TEL 043-271-8481